

## 消防団員の準中型免許 取得に支援を

### 今後の検討課題としたい



堰野端 展 雄  
(自民公明クラブ)

**議員** 道路交通法の改正で、平成29年3月から車両総重量3・5トン以上7・5トン未満の自動車を運転できる準中型免許が新設され、普通免許で運転できる車両総重量の上限が3・5トン未満に引き下げられた。これにより消防用のポンプ車の多くは新たな普通免許では運転できなくなつた。消防団員が準中型免許を取得する費用に助成

する考えは。

**市長** このたびの法改正で直ちに支障が生じることはありませんが、これから消防団に入る若い世代が消防団車両を運転できなくなることを防ぐため、国の財政措置を利用しながら、消防団員の確保について今後検討したいと考えています。



地域を守る消防団

**議員** これからの時代は、いわゆる箱モノをつくるよりも光回線を整備した方がさまざまな可能性が生まれると考えている。市内に光回線の未整備地域があるので、全域に普及させる考えは。

**企画財政部長** 市は平成29年度に国の事業を活用

し、十和田湖畔地区に光ファイバーを整備しましたが、高齢者世帯が多いこと等から、加入申込者の確保が難しい状況です。他の未整備地域においても同様の課題が見込まれる中、多額の費用を要する整備を市が単独で行うことは困難です。今後、国の新たな補助制度に注視していくとともに、これまでの事業効果も検証した上で慎重に検討したいと考えています。

**議員** 仕事と家庭を両立させる職場づくりのためには、介護休暇や育児休業等の制度の普及が課題だ。市職員の介護休暇等の取得状況は。

**総務部長** 平成29年度の病院事業職員を除いた正職員の取得状況は、介護休暇は0人、育児休業は男性2人、女性7人です。育児休業対象者に対する取得者の割合は、男性13・3%、女性100%です。



江 渡 信 貴  
(自民公明クラブ)

## 全小中学校に冷房設備を

### 保健室への設置の可能性を検討

**議員** 地球温暖化により夏の暑さが厳しくなっている。全小中学校に冷房設備を設置する考えは。

**教育部長** 体調を崩した児童生徒のために、各校の保健室に冷房設備を設置できないか検討しているところですが。

**議員** 学校は災害時の緊急避難所にもなることから、熱中症対策として、保健室や特別教室には早急に設置してほしい。

**議員** 市街地循環バスは今後市民の暮らしに欠かせないものになる。平成30年7月から9月まで行った実証運行の成果と、今後の進め方は。

**市長** 3か月間の実証運行の結果、多くの方からまた利用したいという回答をいただきました。頂戴した意見やアンケート

の結果、さらに過去に実施した北里大学循環バスの運行結果も踏まえ、来年度は運行区域、バス停の位置、時刻等を見直して、再度実証運行をしたいと考えています。また、徒歩や自転車での移動が困難となる冬期間の運行も含めて検証を進めたいと考えています。

**議員** 市がバスを保有して運行する考えは。

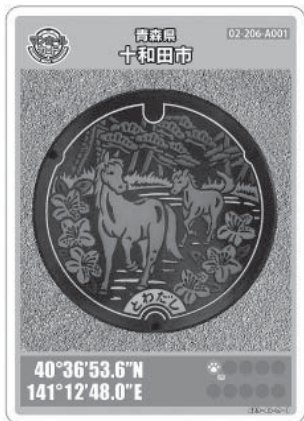
**企画財政部長** 今回の実証運行では、交通事業者が所有するバスを使用したことから、通常の路線バスとの区別がつきにく

いという反省点がありました。よって市でバスを購入し、デザインを施して、路線バスとの差別化や利用向

上に向けた取り組みをするのを考えています。運行については、委託等、効果的な手法を検討したいと考えています。

**議員** マンホールカードの制作状況は。

**上下水道部長** マンホールカードは、下水道への理解や関心を深めてもらうための広報手段の一つとして、下水道広報プラットホームが制作しているものです。市は平成30年9月に登録申請をし、当選したので、現在制作を進めているところです。



発行中のマンホールカード